

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 rows: 事業所番号 (0172000515), 法人名 (特定非営利活動法人 生きがいセンター), 事業所名 (グループホーム 生きがい(第2ユニット)), 所在地 (小樽市朝里川温泉2丁目694番3号), 自己評価作成日 (平成31年1月7日), 評価結果市町村受理日 (平成31年3月12日)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然に恵まれた環境を生かし、近隣を散歩したり中庭でお茶をしながら、四季折々の風景を楽しんでいます。畑で作物・花壇でお花を育て、利用者様と一緒に日々成長を眺めながら収穫しています。のんびりと家庭的な雰囲気の中で、利用者様一人ひとりが楽しく安心した生活を送れる様に努め、地域の方々との交流を深めながら、地域に密着したグループホーム作りを目指し取り組んでいます。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先URL, http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2018_02_2_kan=true&JigyosyoCd=0172000515-00&PrefCd=01&VersionCd=022

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 rows: 評価機関名 (特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット), 所在地 (札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401), 訪問調査日 (平成31年2月8日)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

(Empty box for external evaluation comments)

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

Large table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 56-62 describe various service outcomes and staff/user interactions.

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	独自に運営理念・ポリシー・地域に密着した理念を作り、職員の目の留まるところに掲示しています。社内研修でも取り入れ職員全員で確認し実践出来るように努めています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ホームのお祭りにはご家族や地域の方々も参加頂いています。近隣小学校の運動会や学習発表会等にも招待して頂き、クリスマス会や雪灯りなどボランティアの方や町内会・子供会の方々の協力を頂きながら楽しく交流出来ています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や地域行事などの機会を活かして皆様にホームでの日常生活をお伝えしたり、認知症の方への理解や支援の方法などをお話しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の方やご家族様に生活状況等の報告と意見交換を行ないサービスの向上に努めています。会議の議事録はご家族に送付しています。又、自己評価や外部評価についても報告しています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村担当者に必要に応じて窓口や電話にて相談しアドバイスを受け、協力関係を築ける様に取り組んでいます。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に身体拘束委員会を開催しています。社内研修にも取り入れ、個々の意識を高め日々、考えながらケアに取り組んでいます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内研修を行い正しい知識を学び、身体的だけでなく心理的な虐待にも意識しケアに取り組んでいます。利用者様の様子の変化に注意し防止に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内研修に取り入れ、学ぶ機会を作っています。必要時には対応出来るように今後も制度の理解に努め、利用者様の支援に結びつけていきたいと思っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約や解約の際には十分に説明しています。不安や疑問な点については時間をとって丁寧に対応し納得して頂ける様に努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置したり面会簿に記入欄を作っています。ご意見や要望、不満に思っている事があれば、電話や面会時などにも伺う様にしています。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的なフロア会議を開催し意見交換を行ったり、個別に意見や提案を聞いたりしています。日頃からコミュニケーションを図り、職員が意見を言いやすい雰囲気作りをしています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	社外研修で学ぶ機会を作ったり、目標を持って積極的に資格取得に取り組み、向上心を持って前向きに働ける様に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月社内研修は行い、外部研修にも参加しています。資格取得を目指す職員にアドバイスをこなっております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	相互訪問等の活動を行ない意見交換をしています。学びを質の向上に繋がる様に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めています	入居前にご本人様やご家族様と面談を行い、意見や要望、不安に思っている事などを伺い、ホームの見学も勧めています。安心し納得して入居出来る様に努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	意見・要望を伺い、ご家族様の不安などを解消し、希望に沿った支援が出来る様に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人・ご家族様から話しを伺い、必要としているサービスが何なのかを把握し、最善な支援の提供が出来る様に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に出来る事は行なって頂き職員の分からない事は教えて頂きながら共に良い関係を築ける様に心掛けています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	電話や面会時などに、ご本人様の様子をお伝えしています。ご家族様の意見もお聞きし、時には相談しながらより良いサービスが提供出来る様に努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人・知人との電話や面会の他、ご家族様にご協力頂き以前から通っている病院に継続的に通える様に努めています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の個々の性格や相性を配慮しながら、その方々に合った仲間作りを支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も、心配事や相談事がある場合は、いつでも連絡頂ける様お伝えしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中から都度、意向や希望を聞く様に努めています。その他にも表情・言葉などからも把握出来る様に努めます。意思疎通が困難な場合はその方の行動やご家族様から情報を得る様にしています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居の際に、ご本人様やご家族様から生活歴や趣味嗜好等を伺い、ご本人様らしい生活を送れる様に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	それぞれの生活リズム、心身の状態を把握し職員間で確認・共有しながら力を発揮出来る様に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様やご家族様の意向を伺い、職員間で会議等で話し合い、それぞれにあったサービスを提供出来る様に介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の様子を個別に記録しています。モニタリングを行ない、職員間で話し合い介護記録の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	協力医療機関以外の通院や送迎等、ご家族が同行出来ない場合には、付き添い介助等を行い、柔軟に対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員・消防・包括・小学校や子供会・地域のボランティアやご家族様の協力を頂き、安全で豊かな暮らしが出来る様に支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院に移行するか以前からの病院を継続するかはご本人様やご家族様に決めて頂きます。希望される受診・往診が行える様に支援し何かあった際はすぐ対応して頂ける様な関係を築いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日バイタル測定等を行い、体調が悪い時や心配事がある時は協力病院の看護師に相談し、助言を頂いたり受診しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、必要な情報を提供し、病院関係者やご家族様と連絡をとり、病状の経過を共有し早期退院に向け取り組んでいる。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化の方針については入居時にご本人様やご家族様に説明しています。医療機関や他施設の方々と情報交換等、連携をとり状態に合った支援を受けれる様に努めている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	社内研修に取り入れ、学ぶ機会を作っています。職員全員がいつでも対応できるように、今後も周知徹底に努めていきます。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防の協力のもと、年2回避難訓練を行っています。地域の方々にも参加して頂きながら、日中と夜間の想定で行っています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様それぞれの特性を踏まえながら、職員は言動に留意しながら対応しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりの状態に合わせて、分かりやすい言葉かけや、選択肢のある声かけで自己決定しやすい場面を作る様にしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の生活ペースを大切にしている。意欲低下がみられる方に対しては気持ちに寄り添いながら、無理のない様に支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に合った服装や髪型でいられる様に、こだわっている事などご本人様の意向に沿える様に支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好みに合わせた食事を提供したり食べやすい形で提供している。行事等には特別メニューを提供し準備や後片付けも無理のない程度で一緒に行っています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食、摂取量や水分量を記録しています。状態の変化に合わせて対応を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、歯磨きを行って頂いています。自力が困難な方には介助し清潔を保っています。希望される方には歯科往診で口腔ケアも行って頂いています。夕食後は洗浄剤につけ義歯を消毒しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	自立されている方には維持出来る様経過を見守ります。困難な方にはパターンを把握し時間をみて誘導をしています。出来るだけトイレにて排泄して頂ける様に支援しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分を摂って頂き、体操を取り入れて個々の状態に合わせて対応を行っています。便秘の方には主治医に相談し下剤の処方をお願いしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	個々の身体状況に合わせて入浴を提供しています。(浴槽・シャワー浴)出来るだけご本人様のペースで入浴出来る様に支援しています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣を把握し体調や状況により休息出来る様に支援しています。ゆっくり安眠出来る様、見守りを重視しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書にて用量・用法・副作用を把握しています。又、薬の変更による体調の変化にも気をつけています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様やご家族様から生活歴や趣味などを伺い個々の力を発揮出来る場や楽しみ事が出来る様に支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣を散歩したりホームの行事や近隣小学校の行事に参加して頂いています。又、ご家族様が外出などに連れていかれる事もあります。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様はお金の管理は行っておりません。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望の際にはいつでも電話をお掛け頂いております。ご家族様や友人からの電話にも直接お話をさせて頂いております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた飾りつけや利用者様の作品・写真などが飾られています。飾る時も利用者様と一緒にしたりしています。温かい家庭的な雰囲気・空間作りを心がけています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室ではゆっくりと自由な時間を過ごして頂きフロアでは、気の合う仲間とお話を楽しんだりしながら、それぞれが思い思いの時間を過ごされています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には前から使われている慣れ親しんだ物や馴染みのある物をお持ち頂き、今まで通り安心した生活が送れる様に支援しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室・トイレ等には分かり易く表札や目印を付けています。個々の出来る事、出来ない事を把握し出来ない事は一緒に行き自立に向けた支援を行なっています。		